

■ センターのDX推進の取組みが表彰されました

「第53回日本IE（インダストリアル・エンジニアリング）文献賞」受賞

受賞内容：貢献賞「生産性向上に取り組むものづくり企業の支援について」

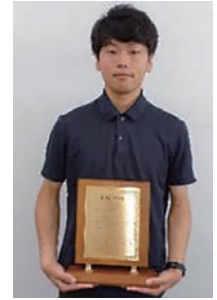
当センター研究員が投稿した「生産性向上に取り組むものづくり企業の支援について」が、人口減少している地域でロボットを活用しながら生産性向上を着実に進めている活動内容は広く製造業の参考になるとして高く評価され、日本インダストリアル・エンジニアリング協会のIE（※）文献賞（IEの普及、発展に著しく貢献する活動）を受賞しました。

この賞は、1971年の第1回からIEの発展と普及に寄与することを目的に、同協会誌「IEレビュー」掲載文献のうち優れた論文や記事を表彰している歴史ある賞です。当センターでは、DX推進による生産性向上を重点プロジェクトとして取り組んでおり、引き続き、製造現場のニーズをとらえた技術支援に取り組んでいくこととしています。

※インダストリアル・エンジニアリング（IE）

製造の作業工程、作業内容を化学的に分析する手法。業務改善の技術のひとつであり、現在では大手自動車メーカーをはじめ、様々な企業の製造現場で活用されている。

受賞した記事全文
はこちらからご覧
ください→



電子・有機素材研究所
電子システムグループ
研究員 楠本 雄裕

■ 令和6年度オーダーメイド型技術者育成事業のご案内

「オーダーメイド型技術者育成事業」では、県内企業の皆様が抱える個別の技術的課題の解決を目指し、実践型技術研修を実施します。令和6年度より「微生物検査手法習得コース」を新設しましたので、ぜひこちらもご活用ください。

申し込みは随時受け付けておりますので、お気軽にご相談ください。事前相談は各研究所までお願いします。



| コース名 | 内容 | 研修期間 | 参加費/名 | 受講の流れ |
|----------------------|---|-----------------------------------|------------------------|---|
| 課題解決手法習得コース | 自社で抱える技術課題を解決する手法を習得する。 (これまでの主な研修事例) 電子・有機素材研究所：ハードウェア/ソフトウェア制御など 機械素材研究所：金属材料の成型加工など 食品開発研究所：食品素材化および応用技術など | 課題に応じて 設定 (3、6、9、 12 カ月) | 1 カ月 あたり 2,000 円 | 事前相談 (各研究所) ↓ 申し込み ↓ 研修開始 ↓ |
| AI・IoT・ロボット技術習得コース | AI・IoT・ロボット技術を製造現場に導入するために必要な知識や技術を習得する。 (これまでの主な研修事例) 電子・有機素材研究所：AIを活用した外観検査など 機械素材研究所：省人化に向けたロボット導入など | | | |
| 分析技術習得コース | 個別の技術課題に対して、センター機器を用いて一歩進んだ高度な分析を行うための知識や技術を習得する。 (注)機器使用料一覧に掲げる機器に限る | 1 日 または 2 日 | 1 日あたり 5,000 円 | ↓ 成果報告会 (分析技術習得及び 微生物検査手法習得 を除く) ↓ |
| ■新設■ 微生物検査手法習得コース | 食品の品質管理に必要な品質管理者向けの微生物検査手法の知識や技術を習得する。 | 2 日 | 10,000 円 | ↓ 修了証交付 |

| | | |
|---------------|------------|------------------------|
| 事業に関するお問い合わせ先 | 企画・連携推進部 | TEL (0857)38-6205 (代表) |
| 事前相談のお問い合わせ先 | 電子・有機素材研究所 | TEL (0857)38-6200 (代表) |
| | 機械素材研究所 | TEL (0859)37-1811 (代表) |
| | 食品開発研究所 | TEL (0859)44-6121 (代表) |

